

鯉が死んでいる!

真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

5月12日、鯉が大量に死ぬ騒動があった。会員の野田さんから、メールで「朝7時頃、神明橋から能ヶ谷橋にかけて5匹の鯉が死んでいた」と通報があった。午後、お隣のAさんが散歩していて10匹近く鯉の死骸があるのを発見したと通報して下さった。早速、町田市役所・環境保全課の志賀係長に連絡する。同様な通報があり既に承知していた。原因は「鯉ヘルペスウイルス」の感染でも、毒物の流出によるものでもなさそうだという。広袴公園に大量のアオコが発生し、そのため鯉が酸欠に陥ったのではないかと云う推定もある。ここ数ヶ月水が青黒く濁る日が多く懸念を強めていた。原因は明確でない。いずれにしても鯉の生存をおびやかすほどの異常が起きていることは事実であろう。焦燥感がつのる日々である。

{2月}

○観察概況

例年、この季節は、抜けるような青空の日が続く。今年は例年に比して快晴の日が少なかった。水は青黒く濁り一向にきれいにならない。月末には黒褐色の気味の悪い藻が川底を覆った。毎朝のように軽快に跳ねるセキレイの姿が見られた。

3日(水) 南東建と蛇籠設置打合せ

以前からお願いしていた蛇籠設置の目途がついたので相談したいとの連絡があった。南東建6名、当方7名。下堰親水に集合して現場の平成橋に移動する。設置場所、形状工事時期等につき打合せる。魚が棲みやすくなり、水質の改善にもプラスとなろう。

11日(木) 里親通信発行・一木会

建国の日で支所は休み。山本、黒田、吉田さんで印刷、配布。夕方、魚民が一木会山本、黒田、岩上、吉田、生江、五条さん。7月真光寺川で実施の市民大学の体験講座の進め方につき打合せ。

14日(日) 旧真光寺川流域・地家・散策

2月恒例のウォーキング。快晴に恵まれる。10名参加。矢崎橋から恩廻し公園にかけての旧真光寺川跡は興味ぶかかった。古い川筋が往時の蛇行したままの姿で残されている。昼食は寺家の茶屋風食事処で舌鼓を打つ。

18日(木) 水サンプル回収中止

松前さんから連絡、雪のため中止となる。

25日(木) 水サンプル回収

夜明けが早くなった。6時過ぎに家を出る快晴、風が快かった。上流ほどずっと黒く濁っている。泡も続いている。浄化の手立ではないものかと思案しながら歩く。

{3月}

○観察概要

月の前半は温暖な日が続いた。桜は例年より早く開花宣言がなされた。だが後半、季節は停滞し桜はなかなか満開とならなかった。流は相変わらず青黒く濁った日が多い。

8日(月) 鶴三小・学校運営会議

年度の実績と成果が学年別に報告された。校区が変更されて生徒数の減少に歯止めがかかる。低学年は2クラス編成から3クラス編成となる。

10日(水) 里親発行、一木会

14時から支所で作業。山本、黒田さん。いつもより時間がかかる。18時から魚民で一木会。山本、黒田、岩上さん。ホームページの更新等について。

12日(金) 真光寺村探訪

新編武蔵風土記稿の読書会で発表するためカメラをぶら下げて出かける。古地図と首っ引きで歩く。往時は谷戸の多い村だったが大半が埋められ住宅地帯に変貌している。真光寺川の中流域はかなりの部分が地下の暗渠に埋められてしまった。

14日(日) 清掃作業日

水は少し冷たかったが幸い日射しは暖かい。13名。2ヵ月作業を休んだので流石に大量のゴミが回収される。終わっていちよう会館で懇談会食。

18日(木) 水サンプル回収

曇、6時に家を出る。太陽が厚い雲間から昇ってきた。能ヶ谷橋でジョギング中の野田さんに会う。鶴川設備工業裏の桃は満開だった。

24日(水) 鶴三小・卒業式

生憎の雨。71名が巣立っていく。一人、一人将来の抱負を披露して校長先生から卒業証書を受け取る。この日のことは一生忘れることはないだろう。

{4月}

○観察概況

気候不順の月であった。4月半には雪がふった。40年ぶりの記録だそうだ。気温は日替りのように乱高下し野菜は高騰した。雨により増水し蒼黒く濁る日が続いた。

7日(水) 里親通信発行・一木会

14時、支所へ。山本、黒田、野田さん。16時、魚民。山本、黒田、岩上、桜井、生江、野田、塩谷さん。源流探索のこと等。



平成橋下流に打上げられた鯉の死骸
2012. 5. 12 野田さん撮影

11日(日) 清掃作業

日替わりのように天候が変わる日々であったが幸い好天に恵まれる。10名。桜の花びらが流れる中で作業。小魚の群が見える。いちよう会館で反省会。

19日(月) 源流探索

7日の一木会で次号里親通信は「真光寺川八景一その8」として源流の風景を取り上げることになった。執筆は黒田さんと決まる。「この機会に有志で源流を探索しよう」ということになる。

幸いさわやかな五月晴。10時、真光寺町バス停に集合する。山本、黒田、野田さん。生江さんは残念ながら集合場所を間違われて不参加となる。

鶴川街道にそって入谷戸川をたどりいずみ浄園に至る、源流の一つである。入谷戸の奥の旧家榎本家で話を聞く。林間の細道を辿って飯守神社へ。サナトリウム奥の谷戸に流れている旧飯守川の源流へ至る。桃源郷に遊ぶような快適な探索であった。

20日(火) 水サンプル回収

曇、5時半に家を出る。前日源流探索でかなり歩いたので、脚の痛みが懸念された。時間がかかったがどうにか歩き通すことができた。上流ほど濁っている。特に神明橋から平成橋にかけては水が蒼黒くきたない。

22日(木) クレイン東京との打合せ

最近真光寺川の水が濁ることが話題になっているらしい。地域住民の要望でクレイン東京との打合せが開催されることになった。町内会長から連絡があり、参加させてもらうことになる。

行政・市会議員・真光寺町、広袴町両町内会等地域住民が出席。クレイン東京乗馬クラブには、現在百頭近くの乗馬がいるそうだ。馬の脚を保護するため、馬場に10~15cmの厚さで砂を散布している。その砂に含まれている物質が流出して濁る原因になっている。その事実をクレイン東京が容認したことは重要で前進だった。化学的検査結果、流失物質は無害だそうだが、生態系に悪影響を及ぼすことが懸念される。クレイン東京も色々対策を講じているようだが、沈殿槽の整備等一層の浄化設備の強化を図ってもらいたいものだ。

(この項おわり)